

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 神鳥谷教室 保護者等数(児童数) 20名 回収数 17名 割合

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17				遊ぶところが勉強する所が分かれている。	規定以上のスペースを確保している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17				多くの職員の方に見守って頂けているので安心です。	規定以上の職員配置と専門性を確保している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15			2	マットの色で分かれていて、絵カードで活動を確保している。 バリアフリーで、マットがひかれていて安心。	TEACCHプログラムを取り入れ、構造化し、子ども達が行動しやすい教室を目指している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17				コロナ化から、おもちゃは毎回消毒していると聞き、安心している。	清潔な環境は元より、衛生面にも気を配っている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16	1			児童発達支援管理責任者が心理士さんなので、専門性を感じる。 ニーズに沿った上で専門的に作ってくれている。	支援計画見直し時期には、モニタリングやアンケートを行い、ニーズの確認やお子様の状態に共通理解を持つよう心掛けている。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1			ガイドラインを提示してもらい、詳しく説明を受けた。	一人一人、都度都度になってしまいが、支援計画のご説明の際には必ずガイドラインを提示した上でご説明している。 全ての方にご理解頂けるよう、考えていきたい。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16				個別課題では一人一人に合った内容のプログラムで、その子に合ったペースで苦手な事を克服しているので自信がなくなってしまった。 午前クラスの身体課題は、毎回内容が変わっていて、連絡帳を楽しみにしています。	スタッフミーティングで確認しながら、支援計画に沿った課題設定を行い、確認している。 各プログラム、見直ししながらサイクルをまわしている。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16			1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	2	8		
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17				丁寧に説明して頂いた。	ご不明点等を確認しながら説明している。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16			1	ガイドラインを提示してもらい、詳しく説明を受けた。	その場で提示しているが、全ての方にご理解を頂けるよう努めていきたい。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	4	1	2	母子支援を受けている。 ペアレント・トレーニングなど家庭で出来ることがあれば教えて欲しい。	ご希望の方に母子支援として提供している。 比較的新しい取り組みのため、再度、全ての方にご案内を配布したい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15			1	細かい所まで良く見てくれている。 定期的な面談や送迎時、連絡ノートにより、子供の状況が良く分かります。	全ての方にお伝え出来るよう見直したいと思います。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1			希望すれば発達相談があって、大変参考になる。	発達相談日をより周知していきたい。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	5	7	今のところ希望していないので、そのままがいいと思います。	今後、見直しの一つと考えている。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17				相談したいとお伝えすると迅速に対応してくれるので、大変助かっています。	出来る限り迅速な対応を心掛けている。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17				連絡帳が充実している。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15			2	こぼん通信楽しみにしています。 こぼん通信が大変参考になります。	今後とも、こぼん通信で情報を発信していきたい。 自己評価は毎年、本部ホームページをご覧頂くよう周知し、玄関に張り出している。 送迎の方へは別途配布が必要を検討する。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17				説明を受けている。	倫理規定に沿っている。
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17				契約時に説明を受けた。 参観の際に教室や玄関に貼ってあるのを確認している。	今後ともご安心頂けるよう実施していきたい。
	21 非常災害の発生に備え、定期的避難訓練、救出、その他必要な訓練が行われているか	17				定期的訓練が行われているため、子どもも対応の仕方や避難経路を良く覚えていきます。	避難訓練の様子はこぼん通信(会報)に掲載している。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	16	1			先生方がとても優しく話やすく、おしゃべりが好きな子供の話をたくさん聞いてくれ、課題	全てのお子様楽しく過ごせるよう努めていきたい。
	23 事業所の支援に満足しているか	17				利用するようになって子供が成長したことを実感でき、自信もついたので利用して良かった。	ありがとうございます。今後とも、お子さまの笑顔と成長を見守っていききたいと思います。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 神鳥谷教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		午前クラスと午後クラスで定員を分けている。適切である。	
	2 職員の配置数は適切であるか	5		職員間でシフトと調整している。	職員の配置に余裕が持てるよう努めていきたい
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		学習スペースと遊びスペースを仕切り、分かりやすくしている。 マットの色で分けている。	TEACCHプログラムについて、再度職員への説明や研修を設けたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		机や椅子、玩具、ドアノブに至るまで、徹底的に消毒をしている。	職員間で見直しの声が上がることもあり、その度に安全に過ごせるよう工夫を重ねている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		朝のスタッフミーティングで話し合いを行っている。 ミーティングだけでなく、ミーティング資料も作成されているため、読み直し確認できる。	朝のミーティングに出席できない職員には別途、伝える機会を提供したい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		アンケート評価に基づき、毎年改善を行っている。 毎回、迅速な対応をなしている。	一人でもご満足できない方、ご理解に繋がらない方がいらっしゃる場合は、最善を考えていきたい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページの他に、玄関に貼ったり、こぼん通信で改善を知らせている。	ホームページの公表が本部のHPのため、全ての方へ公表し、ご理解頂くため最善を考えている。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		本部の方が定期的に来てくださっている。 相談員さんなどから評価を頂くことが多い。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		様々な研修をして頂いている。 定期的に研修を受けている。 分かりやすい研修をして下さっている。	今後も努めていきたい。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		定期的に面談を行っている。	定期的にアセスメントと面談を実施している。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		発達検査を行っている。 標準化以上に専門性がある。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		ガイドラインに沿っており、その旨の説明をご利用の方へ行っている。	職員間でもガイドラインを確認できるよう、見直ししていきたい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		個別支援計画会議において確認し、ミーティングにおいても確認している。	お子様の状態を把握するため、計画の確認を今後も徹底していきたい。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		専門の先生により立案の上、担当の職員を含め、全体で話し合いながら行っている。	全員で立案に参加し、全員で教室を作るよう研修を充実し、専門的なプログラムを用意した
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		朝のミーティングで話し合っている。	同上
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		集団のプログラム、個別課題、遊びの時間とそれぞれの課題設定をしている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		子どもの人数に合わせて、職員の動き方や手助けの方法に至るまで確認している。	みんなで話し合い、準備している。 今後も努めていきたい。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		シフト上、支援終了後が難しいため、個別に児童発達支援管理責任者へ報告をしている。 その後、翌日にはミーティングで全体で振り返りを行っている。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		日報は詳細に書くことが徹底されている。	職員の負担が多くなってしまうが、日報は詳細に記載するよう徹底している。	
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		モニタリング以外でもお子様の状態をアセスメントしている。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		幼稚園や保育園、学校、市など連携している。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		担当者会議や支援内容報告書を出し、スムーズに移行できるよう共有している。	支援学校や幼稚園の先生方の訪問も受け入れ、連携を図っている。	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		入学時に支援学校の担任の先生による訪問がある。	訪問の他、報告書を提出している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			助言や研修を行うことがある。必要に応じて研修への参加も検討したい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5			今後、見直していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	5		今後、見直していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		連絡帳は出来るだけ詳しくイラストなども交えてお伝えし、保護者からも返事を頂くことが多い。	頻度はより確保していきたいと思う。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5		母子支援として行っている。	今後、お父様が参加できるようなペアレントトレーニングを検討したい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約の際に行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		面談の際に、ガイドラインを提示している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		発達相談以外でも、こぼん通信で助言や情報提供がある。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5		検討したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		電話での相談は勿論、すぐに対応している。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月、こぼん通信を発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報がかかるようなメモなども紛失や持ち帰りが無いよう徹底されている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		使用言語など、配慮のための厳しい研修がある	配慮できるよう徹底している。今後も職員一同、研修や会議を重ねていきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5		検討したい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		教室内に貼ると共に、説明がある。	
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		半年に一度、避難訓練があるのは勿論、全員が参加できるよう週間にわたって繰り返している	全ての職員、お子様に参加できるよう取り組んでいる。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		服薬は必ず詳細を記載して提出してもらっている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		アレルギーに関してはおやつ提供はライン製造も提供していない。また間違えることがないよう	間違えないよう、徹底管理している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		どんなに小さなことも報告、記載、共有している	ヒヤリハットに繋がらないような工夫がある。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		研修を受けている。	研修だけでなく、職員の状態把握に努めている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		これまで、身体拘束を行った事はない。	